

## 第 27 回関西 MISt 研究会開催のご報告と御礼

医療関係者 各位

平素よりお世話になり誠に有難うございます。

2023 年 10 月 14 日に大阪市の梅田スカイビルにて、第 27 回関西 MISt 研究会を開催いたしました。おかげさまで 116 名（医師 64 名、看護師 45 名、CE/ME 他 7 名）もの方にご参加いただきました。

今回の研究会では、「急性期を過ぎてしまった骨粗鬆性胸腰移行部骨折の手術戦略」をテーマとして、シンポジウム1では各術式の利点・欠点・限界点、シンポジウム2では骨粗鬆症に負けない医療材料をサブテーマとしてエキスパートの先生方にご講演をいただきました。テーマを絞ったことで、より深く議論することができました。

ハンズオンセミナーは若手医師向けの XLIF ハンズオンおよびコメディカル向けの大動物を使った脊椎手術体験を行い、大変好評でした。非常に込み合う場面も見られましたが、多くの参加者が脊椎手術を体験し、充実した表情でした。

コメディカルによる演題発表では7演題のご発表をいただきました。日頃の研鑽の成果を発表する数少ない機会だったこともあり、いずれも活発な議論が行われました。最優秀演題賞は和歌山県立医科大学附属病院紀北分院に、優秀演題賞は整形外科北裏病院に授与されました。いずれも、BKP に関してそれぞれの施設での工夫や熱意が伝わる発表であり、内容、スライド、プレゼン、質疑応答の項目で高得点を得て受賞されました。

特別講演1では、茅ヶ崎中央病院の武政龍一先生に、「骨粗鬆症性椎体骨折に対する CPC 椎体形成術の現在」について、ご講演をいただきました。武政先生の緻密かつこだわりの技術をご披露いただき、終板まで隙間なく CPC が充填された模範解答のような再建椎体に感銘を受けました。

特別講演2では、新潟脊椎外科センター／新潟大学の渡邊慶先生に、「骨粗鬆症性椎体骨折に対する脊椎再建術の現状と課題：骨形成促進薬の役割も含めて」をご講演いただきました。渡邊先生は、骨粗鬆性胸腰移行部骨折に関して国内最大の多施設研究を報告されており、幅広い視野でのご講演をいただきたくお招きいたしました。個々の病態に応じた低侵襲かつアウトカム改善効果の高い治療選択が重要であることと、可能であれば骨形成促進薬を術前から導入することの重要性をインパクトのある病理写真とともにご提示いただき、本研究会を締めくくっていただきました。

閉会時の全員写真を添付させていただきます。

私を含め、研究会開催業務に慣れない者ばかりでの運営でしたので、至らぬ点もあったかと思いますが、多くのねぎらいやお褒めのお言葉をいただき、胸をなでおろして

おります。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

次回は関西 MIST 改め関西 MIST 研究会として、第 28 回目の開催を迎えます。丸太町病院の原田智久先生が当番幹事を務められ、2024 年 10 月を予定しております。引き続き皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

重ねての御礼となりますが、本研究会に多大なるご支援をいただき、誠に有難うございました。引き続き、よろしくご指導お願い申し上げます。

2023 年 10 月 17 日  
第 27 回関西 MIST 研究会 当番幹事  
日野記念病院 滋賀脊椎センター長  
石部 達也 拝

